

◆主題名

家族のかたち

内容項目

C-14 家族愛

教材名・出典

家族と支え合うなかで

本時のねらい

家族から受ける無償の愛情に気づき、家族の一員として協力していこうとする意欲を高める。

生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容

○あなたにとって家族とは？

A:「一緒に住んでいる人」「世話をしてくれる人」「血が繋がっている人」「相談できる人」「大事な人」

中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

①「私」が逃げてしまったのは、どんな気持ちからだろう？

A:「汚い」「いやだ」「なんで私が。」

補助発問:母の話を聞いて、「私」はどう思っただろう？ A:「恥ずかしい」「祖母に悪かったな」

②老人ホームへの訪問を通して、「私」はどんなことに気づいたのだろう。

A:老人ホームの人々は、温かい心の交流を求めている。→祖母には、「私」がいる。

補助発問:「私」は何をはじめた？祖母はどう変わった？ A:「祖母の部屋の掃除」「立ってみようかと言った」

◆テーマ

(中心となる発問)

学び合いの発問:「私」が祖母と関わることで、どんないいことが生まれるだろう。

テーマ発問:「支え合う」とは、どういうことだろう。

ねらいとする価値に迫るために

なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。

◆学び合う活動のねらい

変容をねらう 多様さに気付かせる 自分の考えを深めたり広げたりする

その他()

学び合う活動のねらいを達成するための手立て

1 心情円盤 2 ネームプレート 3 付箋紙 4 心のものさし 5 ICT 6 その他

学び合う活動のスタイル

1 フリー(自分がネームプレートをはったところ以外へ) 2 ペア 3 グループ 4 その他

◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

【授業後の反省】

学び合いの発問では、祖母の世話をすることで、祖母以外の家族を助けることになることに気づかせたかった。「祖母は」「祖父は」「母は」という出だしを指定することで、それぞれの家族の視点で考えることができた。

考えている途中で、「『私』はどうだろう？負担が増えるだけかな？」と揺さぶりをかけたほうが、「支えることでやりがい生まれる」などの意見が多く聞かれたように思う。

最後の振り返りは、自分の家族を振り返って書かせた。